

第66回西日本経済同友会大会共同見解

日本復活の指針 取り戻せ、日本人の美学

・我が国の現状認識

我が国経済は、原油や穀物を始めとする資源価格の高騰に加え、金融危機の煽りを受けた世界経済の深刻化によって、戦後最大の危機に直面している。また、少子化・高齢化の進行や地方の衰退など、現行の社会システムが抱える構造的な課題も、年々深刻さの度合いを増している。このような危機的状況を打開し、再び活力ある日本を創造していくためには、緊急的な対策に加え、かつて世界を席卷した日本の「原動力」を改めて認識し、グローバル化の進展に適応する形で、その復活を図ることが肝要である。

・日本人の美学が持つ可能性

日本人は古来、海外の文化の優れた点を謙虚に認めて、柔軟かつ速やかに取り入れ、それを日本独自のものとして発展させてきた。また、同時に、礼儀正しさや道徳を重んじる心・豊かな宗教心に裏打ちされた高い倫理観、自然に対する畏敬の念、ものを作り出すことへの敬意なども持っていた。このような特長を基盤として、世界に類を見ない独特の美学を作り上げてきたからこそ、長きに亘って国家の独立を保ち、世界第二の経済大国という地位を築くことができたと言っても過言ではない。

ところが、我々は、物質的な繁栄を実現する過程で、西洋文明を愚直に受け入れることに腐心する余り、自らの強みの源泉をなおざりにしてきた。我が国が今後進むべき方向性を見失っている今こそ、もう一度「日本人の美学」を取り戻し、日本復活への活路を切り拓いていかなければならない。そのためには、我々自身が、社会との調和を尊重する倫理観や自然との共生を大切にする伝統を忘れず、質の高さを追求する日本らしい経営によって新たな価値を創造し、世界に向けて発信していくことが求められる。

・結び

西日本は、日本の文化と社会の基礎を作り出してきた地域であり、また、古くから海外との交流の窓口という役割も担ってきた。それぞれの地域に残る豊かな歴史・文化・伝統を見つめ直すことを通じて、日本人としての「自信」を取り戻し、異文化の優れた点を取り入れながら革新を成し遂げる気概を持って、価値の創造と世界への発信に努めていくことをここに宣言する。

以上